

# 北鎌倉駅から天園ハイキングコース 鎌倉ハイキング①

日 時：2020年8月9日（日） 天候：晴 最高気温：34.2℃（横浜）

歩数：1万5200歩 距離：10km やや健

コース：JR北鎌倉駅（10時30分）～円覚寺～明月院～山道～今泉4丁目分岐～勝上献展望台～天園ハイキングコース～鎌倉十王岩～大平山～天園（昼食）～獅子舞経由鎌倉宮分岐～二階堂川源流域～永福寺跡～鎌倉宮～法華堂跡源頼朝の墓～鶴岡八幡宮～JR鎌倉駅

参加者：市村

今年の夏のウォーキング、暑さ対策に加えて、新型コロナウイルス感染対策&ウォーキング不足による脚力対策が必要かと思えます。

暑さ対策、関東甲信越地方の長い梅雨が、平年より11日遅い8月1日によようやく明けました。その8月1日、横浜の最高気温は丁度30℃、それ以降連日30℃超えの真夏日が続いています。

コロナ対策、政府は、混乱の末東京を除外するなどして、7月22日から「GOTOトラベル」を前倒し実施、新規感染者はその7月22日に795人で、緊急事態宣言中の4月11日の720人を上回り過去最多、その後1000人超えが続き8月7日には1605人を記録しました。

脚力対策、クラブでのウォーキング参加は、3月17日の「境川の源流を目指す①」以来3ヵ月を経て6月27日の「境川の源流を目指す②」、6月30日の「三浦半島周遊シリーズ⑤遠津浜を往く」、7月18日の「境川の源流を目指す③」しか歩いていません。脚力不足は明らかです。

そんなことを考えながら3連休真ん中の8月9日、やや健コースと思われる「北鎌倉駅から天園ハイキングコース」を歩きました。（写真は天園ハイキングコース勝上献展望台から見た建長寺）



## 北鎌倉駅～横須賀線踏切の先に円覚寺～明月院通り～シャガ～明月院

平塚駅から東海道線で大船駅へ、横須賀線に乗りかえました。車内は若者が多くかなり混んでいて、新型コロナウイルス感染のことを考えると少し不安になりましたが、北鎌倉駅下車は10数人で少しホッとしました。多くの若者は次の鎌倉駅が目当てかと思われました。

駅前広場で軽いストレッチをして10時30分スタート。円覚寺の参道を進みます、丁度横須賀線の車両が横切りました。線路沿いの鎌倉古民家ミュージアムで「妖怪展」が開かれています。左折して明月院通りへ、シャガの緑が目に入りました。突き当たりが明月院、門前の趣のある茅葺の家も写真に収めました。



## 明月院～山道～何カ所もの倒木～今泉4丁目分岐～勝上献展望台

明月院から左へ、明月院通りを道なりに進んでいきます。上り道が大分急になってきて脇道へ入ると民家の左横が天園ハイキングコースにつながる入口。いきなり山道の上りに入ります。今年の台風15号、19号の影響か、倒木が何カ所も道を塞いでいます。前を同年配の男性2人連れが歩いています。

何回か上り下りをして、住宅街へ下りられる今泉第4丁目分岐まで来ました。上り道で若いランナーが追いついていきます。11時13分、建長寺裏山の勝上献（しょうじょうけん）展望台へ着きました。強い風が吹き上げてきて心地よい、眼下に建長寺、遠くには鎌倉市街と由比ガ浜の海岸が広がっていました。



## 勝上献展望台～天園ハイキングコース～鎌倉十王岩～大平山～天園

建長寺は、「鎌倉五山」第一位の寺です。天園ハイキングコースは、建長寺から瑞泉寺までの鎌倉アルプス尾根を利用したハイキングコース、瑞泉寺方面へ進みます。5分ほど歩くと、左手に「かながわの景勝50選鎌倉十王岩の展望」と刻まれた石碑がありました。鶴岡八幡宮から海まで続く若宮大路がはっきり見えるのですが、今日はスルーしました。今泉6丁目入口分岐へ出ました。下から30名位の団体が上ってきました。ここで「瑞泉寺方面通行止め・横浜方面通行可能」の立て看板、そのまま進みます。鎌倉の最高峰159.2mの大平山を経て12時8分、天園へ着きました。ここで昼食、20人位の人が昼食中でした。



## 天園～獅子舞經由鎌倉宮分岐～二階堂川源流域～国指定史跡永福寺跡

昼食をとって12時28分、午後のスタート。天園から少し下ると獅子舞經由鎌倉宮分岐道標が出てきました。瑞泉寺方面は通行止めですので、ここから下りることになりました。木々が生い茂る山道を下ります、大分下りると滑りやすい沢沿いの道へ、望遠カメラを据えてバードウォッチングをしている男性2人が「こんにちは」と声をかけてきました。二階堂川の源流域、吹き抜ける風とせせらぎの音が何とも言えません。

民家のあるところまで下りると黄色のコスモスが咲いていました。少し進んで、源頼朝が建久3年(1192年)に二階堂を建立した国指定史跡永福寺跡へ。この辺りの住居表示は鎌倉市二階堂です。



## 永福寺跡～鎌倉宮～法華堂跡源頼朝の墓～鶴岡八幡宮～J R鎌倉駅

永福寺跡から鎌倉宮へ向かいます、アスファルト舗装の道路の照り返しが堪えます。鎌倉宮境内では骨董市が開かれていました。鶴岡八幡宮へ向かう途中、法華堂跡の参道を上った奥に「源頼朝の墓」がありました。説明板に「正治元年（1199年）に53歳で没すると、自身の持仏堂であった法華堂に葬られ・・・この丘の上一帯がその跡です」と書かれていました。

鶴岡八幡宮は観光客が大勢参拝していました。小町通りに入ると人が溢れていて、横の路地へ入ったところなども有名店なのか入店待ちをしている若者が列をなしていました。マスクはしていますが、新型コロナウイルス感染拡大で「3密を避ける」はどうしたのでしょうか。密を避け急ぎ足で若宮大路へ出て14時10分、J R鎌倉駅へ着きました。



この日、何人ものランナーに出会いましたが、みなさんランニング用マスクを着用していました。鍛えられた若者は凄いなと思いました。一方年配者が多いハイカーのマスク着用は半々ぐらい、熱射病を避けるために歩いているときには適宜マスクを外すことも必要と思いました。私も山道に入ってからマスクを外し、こまめに水分補給をして歩きました。1万5200歩、約10km、汗を一杯かいてリフレッシュできました。

(いちむら記)